

様式 2

教 科
数 学

種 目
数 学

発 行 者
東京書籍

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を活用する「深い学び」のページに「大切にしたい見方・考え方が丁寧に記述されていたり、統合的・発展的に考えるために「同じように考えると」「それなら」が位置付いていたりするなど、生徒が見方・考え方を働かせることを意識できるようよく工夫されている。 ・単元の節ごとに「基本の問題」、単元末に「章の問題A・B」があり、さらにフラッシュカードもあり、基礎的・基本的な知識や技能の定着させるための問題がたいへん充実している。 ・「学びをふり返ろう」や「数学の目でふり返ろう」など、学習を振り返る機会が随所に設けられており、自らの取組を評価・改善しようとする態度を養うための工夫が十分にされている。
<p>2 第4次岐阜県 教育振興基本計画 (令和6年3月策定) にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの特性や学習進度に応じた個別最適な学びの実現ができるように、問題ごとの「チェックボックス」を設けることで、生徒が自らの学習状況を把握し、自己調整しながら学びを進められるようによく工夫されている。 ・ペア学習やグループ学習、全体交流での意見の共有などの協働的な学びの場面において、「対話シート」を利用して、自分の考えを整理したり、考えを説明する際に、ICTをより効果的に活用できたりするようよく工夫されている。 ・デジタルコンテンツ「マイ教科書・マップ」では、都道府県ごとの紙面やデジタルマップを用いて、地域の題材を使った授業が可能で、郷土愛をより育むことができるようになっている。
<p>3 印刷・製本等 にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙は丈夫で筆記特性のよい白色軽量化用紙が使用されているため、生徒の身体的負担軽減により配慮されている。 ・紙面の右側に余白をとり、紙面にゆとりをもたせたり、全体の色の基調を統一させることで、集中して学習に取り組めるようにしたりするなどの工夫がされている。 ・製本は、あじろ綴じ方式を採用し、紙面を大きく見せ、書き込みしやすくなっている。 ・巻末に、正多面体などの空間図形の見方を養うために、正多面体の模型を作って観察する活動が行えるようになっている工夫などがよくなされている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や学習に活用しようとする態度を養うために、関連付けて学ぶことを強調されていたり、主体的・対話的で深い学びができるようにするために、生徒が教科書を見てどのように活動を進めればよいか分かるように構成されていたりするなど、よく工夫されている。 ・練習問題だけではなく、授業の導入や課題追究時にICTを活用して学習場面を理解しやすくしたり、生徒の思考を進めたりできるようになっており、デジタルコンテンツがたいへん充実している。

様式 2

教 科
数 学

種 目
数 学

発 行 者
大日本図書

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・理解を確かめるための「たしかめ」と、例題と同じように考えることで解決できる「Q問題」が意図的に位置付けられている。 ・巻頭に数学的な見方・考え方が具体的に例示されていたり、本文中にキャラクターが見方・考え方を示したりするなど、生徒が新たな視点をもって思考ができるように工夫されている。 ・単元の導入には、数あてゲームや折り紙など、生徒が身近に楽しめる題材も扱っており、単元での学習に意欲的に取り組むことができる工夫が十分になされている。 ・単元末には、「活用・探究」や「社会にリンク」が位置付いており、単元の学習を活用して発展的に学んだり、数学を身近に感じたりすることができるよう構成が工夫されている。
<p>2 第4次岐阜県 教育振興基本計 画(令和6年3月 策定)にかかわ ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の内容をもとに考えたり調べたりする学習では、解決の見通しやその方法について意見を出し合い、考えていく場面が例示されている。それにより、仲間と一緒に問題解決に取り組むことのよさを感じられるように工夫されている。 ・単元末や巻末には、補充問題と発展問題が掲載されており、繰り返し学習したり、発展的な内容に挑戦したりすることができる内容になっている。
<p>3 印刷・製本等 にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷は、色覚特性に配慮した4色刷りで読みやすく、鮮明に印刷されている。環境に配慮した紙や植物油インキを使用し、環境やアレルギーに対する配慮がなされている。 ・見返し用紙を用いて、あじろ綴じで製本することで、長期使用に適した使いやすいものになっている。 ・文字の大きさは、生徒の発達段階を考慮し、1年は2・3年よりも一段階大きな文字にすることで、円滑に小学校との接続ができるよう工夫されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の解決の仕方が身に付くように問題解決の流れが明示され、主体的に取り組めるように構成されている。また、考えの根拠を説明するよう促したり、正誤の判断を求めたりする発問が位置付けられており、思考力・判断力・表現力を育めるよう工夫されている。 ・「たしかめ」「プラスワン」「補充問題」など、様々な種類の問題を通して、知識・技能の定着を図るべく作成されている。 ・1単位時間の学習が教科書見開き2ページで進められるように構成されており、学習しやすいように工夫されている。

様式 2

教 科
数 学

種 目
数 学

発 行 者
学校図書

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・例がノートのように書いてあり、分数や解の公式など書き方が分かりやすい。また、単元の始まるページには中学での既習の知識が分かるように記載されており、節や単元末の問題が十分にある。 ・生徒同士の話し合いの記載から、どのように思考していくとよいか、問題解決につながるように工夫されている。 ・単元の学習の最後において、「章を学んで」に「できるようになったこと」「さらに学んでみたいこと」を振り返るチェックリストが付いており、自己評価を通して、学習意欲の向上につなげる工夫が十分にされている。 ・各領域の学習に入る前に「ふりかえり」のページが位置付いていたり、本文中にも「ふりかえり(QRコード)」が設定されていたりすることで、既習内容の確認や、学習のつながりを感じられる工夫が十分にされている。 ・本文中に数学的な見方・考え方を働かせることを生徒に促す投げかけが適宜位置付けられていたり、巻末に1年間の学習で出てきた見方・考え方がまとめられていたりするなど、工夫されている。 ・1年生の教科書には、素数を学ぶページ以降、ページ番号が素因数分解されており、数に興味をもって意欲的に学ぶ工夫がされている。
<p>2 第4次岐阜県 教育振興基本計画 (令和6年3月 策定)にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「章のまとめの問題」では、基本、応用、活用の3つに分類されていたり、補助的なQRコンテンツが用意されたりしていることで、生徒一人ひとりの特性や学習進度・学習到達度等に応じて、生徒自らが主体的に学習に取り組むことができるような配慮が十分になされている。 ・本文中の側注やQRコードに「ふりかえり」を設け、小学校の学習内容や前学年までの学習内容の学び直しができるような工夫がされている。また、QRコードについては、アニメーションや活動、映像などが豊富に用意され、生徒自らが主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ・目次の「ふりかえり」や巻末の「図形の性質のまとめ」によって既習の学習内容とのつながりを適切にとらえることができるような工夫がされている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・UDフォントの使用や文節での改行により、インクルーシブ教育に配慮し、すべての生徒が読みやすく理解しやすくなっている。 ・用紙については、紙質を保ちながら軽量化を図るとともに、環境やアレルギーなどに配慮した用紙やインキを使用している。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各章と各節のはじめに、身近な場面から自ら疑問を発見することで、主体的な学びにつながるような工夫がなされている。また、各領域に入る前には既習内容を振り返ったり、日常生活に関する問題やSDGsに関連した課題について学びを生かしたりすることができる構成になっている。 ・個別最適な学びができるよう、基礎的・基本的な内容の習熟や、活動・思考の補助になるようなQRコンテンツが充実している。

様式 2

教 科
数 学

種 目
数 学

発行者
教育出版

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の始まりに「学習する前に」のページがあることや、例・例題、たしかめ、問の構成、単元末の「学習のまとめ」や「たしかめよう」など基礎的・基本的な内容が身に付くよう工夫してある。 ・羅針盤マークや登場人物による台詞、記号？や！などをきっかけに、思考するための筋道が分かったり、どのように考えたかをまとめたりできるよう工夫されている。 ・単元の導入には必ず「章とびら」が位置付いており、数学を学ぶことの必要性を感じることができる。さらに、「LINK!!」とも関連付いており、実社会とのつながりを感じ、生徒自らが問いをもって学び合うための工夫がある。 ・巻末の「学びのマップ」では、内容的な系統と既習内容がまとめられており、「もどって確認」とも併用することで生徒が学習内容を適宜振り返ることができるよう工夫されている。 ・巻頭に算数の学習における数学的な見方・考え方が学習内容とともに例示されている。また、本文中に見方・考え方が位置付いており工夫されている。
<p>2 第4次岐阜県 教育振興基本計 画(令和6年3月 策定)にかかわ ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTが効果的に活用できる場面に、アニメーションや映像、シミュレーションなどのデジタルコンテンツが豊富に用意されている。 ・章末を「たしかめよう・力をのぼそう・学んだことを活用しよう」の三段階で構成し、習熟度に応じて問題に取り組めるようになっていて、自立解決が難しい生徒に対しては、解決の手立てが用意されていたり、公立高校の入試問題に挑戦できるようにしたりするなど工夫が見られる。 ・巻末には補充問題に加えて、実力アップ問題が用意されていたり、3年巻末には総合問題で領域複合的な問題も掲載し、個に応じて取り組むことができるようになっていたりしている。
<p>3 印刷・製本等 にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさや読みやすい改行、余白を生かしたレイアウトなど、すべての生徒が落ち着いて学べる紙面になるよう工夫されている。 ・用紙は再生紙を利用し、植物油インキで印刷し、表紙には抗菌加工を施すことで、環境やアレルギーなどに配慮されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元において基本の問題や学習のまとめで基礎的・基本的な力が定着できるように、章末の三段階による問題や巻末の補充問題・実力アップ問題等で学びを生かす力を育成できるように構成されている。 ・「章とびら」では、実社会や先端テクノロジーなどに関する話題を取り上げ、数学の有用性が感じられるような配慮がなされている。また、「数学しごと人」を通して、数学が実社会で役立っていることや数学を学ぶ意義が実感できるように工夫されている。

様式 2

教 科
数 学

種 目
数 学

発 行 者
啓林館

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・例の解説動画(スマートレクチャー)があり、丁寧に説明している。また、単元末の問題数が多く用意されており、単元の学びを確かめるための問題が十分にある。 ・いくつかの技能を用いたり、活用したりして解決する問題が単元末で用意されている。また「ひろげよう」「説明しよう」など、学んだ内容をつなげて考えを深めていくよう意図的な配置がある。 ・節ごとに「節のとびら」が位置付いており、QRコンテンツと併用することで、単元の内容に合わせた問題場面を捉える手立てとなっており、主体的に学習に取り組めるようよく工夫されている。 ・「ふりかえり」や「学びをふりかえろう」を設けることによって、既習事項の学び直しを行うことができるよう工夫されている。 ・「〇〇の利用」の節の「ステップ方式」の課題により、自分の学習状況に応じて学習を進められたり、解説動画により自分の理解度を把握し、適宜学び直しができたりする工夫がある。 ・本文中に問題を解決したり、学びを広げたりするときに役立つ数学的な見方・考え方が示されているとともに、本文に考え方が記述してある該当箇所に下線がひかれている工夫がなされている。
<p>2 第4次岐阜県 教育振興基本計 画(令和6年3月 策定)にかかわ ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・章末問題には「学びをたしかめよう」と「学びを身につけよう」の2種類があり、習熟度に応じて取り組めるようになっている。問題数も十分に準備されている。また、巻末の「学びをふりかえろう」は前学年までの復習、「学びをいかそう」は発展的な内容で、探究的に取り組むことができる課題を豊富に用意していることで、個別最適な学びの充実が図られている。 ・QRコンテンツは、「動かす」「問題解説、解説動画」「補充問題」などが豊富に準備され、生徒一人ひとりの実態にあった個別最適な学びが実現できるように配慮されている。
<p>3 印刷・製本等 にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・もっとも軽量である。 ・UDフォントやメディアユニバーサルデザインが採用されている。 ・意味や文節で改行することで、文章が読みやすいように配慮されている。 ・開きやすく強度の保てるあじろ綴じを採用している。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識や技能を身に付けるための配慮がよくなされている。また、獲得した知識や技能を活用することでさらに理解を深めたり適応範囲を広げたりできるように構成されており、よく工夫されている。 ・学習内容を確認めたり、活用したりするための単元終末の章末問題、例や類似問題の解説動画の充実など、教科用図書の基礎的・基本的な問題から発展問題の掲載とQRコンテンツの活用によって、個別最適な学びができるよう工夫されている。

様式 2

教 科
数 学

種 目
数 学

発 行 者
数研出版

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習が始まる前に「ふりかえり」が位置付いていたり、既習内容や類似問題などデジタルコンテンツ（L i n k）でさらに取り組めたりするなど、基礎・基本の定着が図られるよう十分に工夫されている。 ・単元の終盤に利用の問題が位置付いていたり、単元末のB問題や活用の問題、「考えよう」や「やってみよう」などがあつたりと学習内容からさらに思考するための工夫がされている。 ・単元の導入では、大きめの写真やイラストを配置し、単元の学習に興味をもつことができる題材が位置付いており、学びの楽しさが伝わる工夫がある。 ・単元の終末では、「学んだことを活用しよう」が位置付いており、単元で身に付けた資質・能力を活用して問題解決を図る必然性のある構成となっている。 ・巻頭に数学的な見方・考え方が例示されているとともに、本文中のキャラクターの会話を通して、見方・考え方が働くよう工夫されている。
<p>2 第4次岐阜県教育振興基本計画（令和6年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「確認問題」「問題A」「問題B」「学んだことを活用しよう」が準備されており、個別最適な学びに対応している。 ・キャラクターが多く登場し、対話を通して学習内容の理解や問題解決のプロセスに焦点があたるようになっている。 ・「補充」「イメージ」「資料」「考察」「探究」の5種類のデジタルコンテンツを準備し、生徒の特性や習熟度に応じた学びがサポートされている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ・漢字にはふりがなが多めにつけられており、誰もが学びやすい配慮がなされている。 ・奇数ページにツメ見出しをつけ、ページが検索しやすいように工夫されている。 ・教科書に書き込む可能性のあるものは、紙面の外側になるように配置されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習内容の確認や基礎的・基本的な問題の反復練習ができたり、習熟度を高められる問題やコンテンツが準備されていたりして、生徒が個別最適な学びを実現し、基礎・基本が確実に定着するような工夫が十分にされている。 ・「Q」や「TRY」を通して予測・考察するところから学習を始めることで、生徒が問いをもち、主体的・対話的に学ぶことができる配慮がなされている。

様式 2

教 科
数 学

種 目
数 学

発 行 者
日本文教出版

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の始まりのページに既習の知識や技能を振り返る問題、練習問題やデジタルコンテンツにフラッシュカードがあるなど、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるための工夫がある。 ・「問」や章末問題に、意図的に「考えよう」「話し合おう」などが付いている問題があり、思考力・判断力・表現力を養うための工夫がある。 ・単元の学習に入る前に「次の章を学ぶ前に」が位置付いており、次の章を学ぶために必要な知識及び技能を復習し、既習内容が定着しているかどうかを確認できる工夫がされている。 ・各章に「学びに向かう力を育てよう」が設けられており、「主体的に学習に取り組む態度」が評価できるような工夫がされている。 ・「身近なことから」から数学の問題を見いだしていく数学化の過程が丁寧に扱われているので、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養うことができるようになってきている。 ・巻頭に数学的な見方・考え方が例示されている。本文中にも生徒が見方・考え方を働かせられるよう位置付けられており、工夫されている。
<p>2 第4次岐阜県 教育振興基本計 画(令和6年3月 策定)にかかわ ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・章末には「章の問題」「とりくんでみよう」があり、習熟度に応じた取り組みができるようになってきている。また、巻末には「補充問題」「活用の問題」も準備されており、個別最適な学びへの充実が図られている。 ・各章に「学びに向かう力を育てよう」が設けられ、必要に応じて巻末に振り返りシートが準備されており、主体的に学習を調整することにつながる工夫がある。 ・QRコンテンツは「見る」「調べる」「身につける」などに分類されており、使いやすい。個別最適な学びと協働的な学びを実現していくためのコンテンツとなっている。
<p>3 印刷・製本等 にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に立体模型などを作成するための型紙が準備されており、授業で扱いやすいものとなっている。 ・UDフォントを使用するとともに、文字のサイズや行間隔も発達段階に合わせた配慮がなされている。 ・紙面を広く活用できるあじろ綴じで製本されている。 ・かき込むような場面(図やグラフ)などに使われる可能性のあるものは、ページの外側に配置してある。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させ、思考力・判断力・表現力を養うための工夫がなされているとともに、問題解決型の授業展開を示した構成で、自分の考えをもち、対話することを通して学びが深まる工夫がなされている。 ・QRコンテンツが使いやすく、巻末の「振り返りシート」、「対話シート」は主体的に学習を調整できるように観点を明示したり、話し合いを通して学びを深めていけたりするよう工夫されている。

様式 2

教 科
理 科

種 目
理 科

発 行 者
東京書籍

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面の配慮については、場面ごとに言葉とアイコンで誰にも分かりやすく注意点を示しているだけでなく、二次元コードですぐに手順を確認できる工夫が十分にされている。 ・単元や章の始めに日常生活から課題設定したり、単元末や章末に「学びを生活や社会に広げよう」など、学習内容について他教科との関連や日常生活や社会との関連から適切にまとめられたりしている。 ・学びを深めるために、「理科の見方・考え方」の必要性が高い活動場面で、適切に「ファシリテーターキャラクター」を表示し、具体的に働かせる「理科の見方・考え方」が示されている。
<p>2 第4次岐阜県 教育振興基本計 画(令和6年3月 策定)にかかわ ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実のために、生徒同士の対話場面をよく示したり、二次元コードで個に応じた学びや共有できる思考ツールを適切に扱ったりしている。 ・単元と章の始めと終わりに「Before&After」が位置付いていて、単元前と後の自分の学びを十分に振り返ることができるようになっている。 ・全ての観察・実験の手順動画、基礎操作の説明動画、学習のスタート動画、シミュレーション動画、問題などICTを十分に扱っている。
<p>3 印刷・製本等 にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語句は太字でふりがなが付されていたり、大きな写真やイラストを使ったりして見やすくなっている。 ・巻頭では「探究の流れ」や「教科書の使い方」、「継続観察の資料」などについて扱い、巻末では「薬品の性質ととりあつかいの注意」、「問題の解答」の資料があり、内容が十分に充実している。また、2年生では「温帯低気圧の立体ペーパークラフト」が付いており、理解しやすいように工夫されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どの単元、章でも探究の流れや学びを深めるために活用する「理科の見方・考え方」が具体的に示されているために、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することに期待できる。 ・自分の学びに合った二次元コードの問題や動画が適切に位置付いていたり、仲間との考察場面对話を示すなど、一人一人に応じた学習だけでなく、他者との協働を扱っていたりするので、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が期待できる。

様式 2

教 科
理 科

種 目
理 科

発 行 者
大日本図書

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書内に登場するキャラクターの言葉をヒントにして、生徒が自ら探究することができるようによく構成している。 ・全ての観察・実験において、必ず「結果から考えよう」を位置付けて、考察するポイントをおさえている。 ・知的好奇心を高めるために、コラム数を多く構成したり、日常生活や社会との関わりを科学的に関連付けるために、地球や大気中に存在する元素を、元素記号を用いて表現したりすることで、その関連の理解をうまく表現している。 ・単元末には、単元末問題で基礎的・基本的な学力の定着を図るだけでなく、読解力問題を設定することで思考力・判断力・表現力等を育成することができるように配慮されている。
<p>2 第4次岐阜県 教育振興基本計 画(令和6年3月 策定)にかかわ ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「個別最適な学び」を行えるように、観察・実験の様子の動画コンテンツを掲載することで、生徒の理解度に合わせて学習を進められるように配慮してある。また、「理科の世界 WEB」「理科の世界 WEB プラス」「学習のまとめ WEB テスト」「Try! WEB テスト」「自然観察スポット集」などデジタルコンテンツが生徒の多様なニーズに対応できるよう用意されている。 ・「協働的な学び」を生み出すことができるように、「話し合いのしかた」を1年生の巻末資料として掲載し、他者の意見に耳を傾けることで、多様な考え方に触れ、新たな考えを生み出すことに配慮している。 ・1年生の巻末資料として「振り返り」の方法を掲載し、探究の過程においてどのように振り返ったらよいかを示してある。
<p>3 印刷・製本等 にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末には、「行ってみよう! 科学館・博物館」を掲載し、生徒の興味関心に合わせた様々な科学館・博物館を紹介することで、生徒が科学とより触れ合えるように配慮している。 ・本文中の重要語句は太字、ふりがなをつけて表現したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、また資料や図表の表現は十分に見やすいものとなっている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の探究心を育み、基礎学力を定着させるための魅力的な構成と充実したコンテンツが特徴になっている。個別最適な学びや協働的な学びなど、現代的な教育ニーズにも対応しており、主体性と社会性を育む効果も期待できる。 ・生徒主体の探求学習を重視し、基礎的・基本的な学力と主体的に取り組む態度の育成を効果的にサポートする教科書となっている。印刷面も工夫されており、視覚的に分かりやすい設計となっている。さらに、STEAM教育など幅広い教育分野への配慮も評価できる。

様式 2

教 科
理 科

種 目
理 科

発 行 者
学校図書

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元末に「まとめ」、「基本問題」が位置づけられている。実験器具の基本的な扱い方の説明では、大きな写真を用いるとともに、器具の破損防止や測定器による誤差などにも触れられている。また、探究活動では、考察のポイントを示すとともに、次ページに考察例を記述することで、基礎的・基本的な知識や技能、思考力を身につけられる構成となっている。 ・「理路整然」と題して、他教科との関連や日常生活、社会との関連のみならず、専門的な内容を扱っており、理科が得意な生徒にとっては深い学びとなる。また、章のはじめに「ふり返ろう・つなげよう」を位置づけ、既習内容とつなげて考えられるようになっている。 ・生徒が主体的に問いを立て、仮説、検証を行う探究活動の流れになっており、探究の過程すべてにおいて、見方・考え方が記載されており、科学的なものの見方・考え方を養えるように十分配慮されている。
<p>2 第4次岐阜県 教育振興基本計 画(令和6年3月 策定)にかかわ ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・つまずきやすい問題には、例題、練習問題の掲載がある。また、探究の過程において、生徒キャラクターを用いて会話例を示し、他者との協働や対話を促している。 ・単元はじめに「学びのあしあと」、単元末に「学習のまとめ」を位置付け、ステップごとに用語を復習したり、基本問題に取り組んだりすることができるようになっている。 ・3年間分の学習内容をWebで再構成し、観察・実験の手順ごとに写真付きで丁寧にまとめられている。また、チャットボットを活用すると質問の回答を得られるため、生徒自身で学習を進められるように十分配慮されている。
<p>3 印刷・製本等 にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・厚み、重さは、AB版で大きく感じるが、持ち運びに配慮されたものになっている。 ・本文中の重要語句は太字で示し、一部の語句にはふりがなをつけてある。グラフの線は、色分けと文字を付記して認識しやすいように配慮している。 ・巻末資料として、各単元で扱う器具の使い方、読み物資料、計算練習問題などがたいへん充実しており、1年間の学習内容を振り返りやすくなっている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単位時間ごとに「課題」の例示や理科の見方・考え方の記述、まとめの例示があり、生徒が目的意識をもって学習したり、科学的に探究するための資質・能力を育成したりすることができる。 ・つまずきやすい内容には、丁寧な解説があり、二次元コードからチャットボットにつながり、生徒の学習支援をすることができる。 ・文字やフォント、色調などユニバーサルデザインへの配慮が丁寧であり、写真や図版が多く使用し見やすいように大きく掲載されているため、使いやすくなっている。

様式 2

教 科
理 科

種 目
理 科

発 行 者
教育出版

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末に「要点と重要語句の整理」「基本問題」「活用問題」が位置付けられており、生徒が自身の実態に応じて学習を進めることができる。 ・思考力・判断力・表現力の育成に向けて、学習内容ごとに「疑問」「課題」「仮説」「計画」「実験」「考察」「結論」が位置付けられている。また、それぞれの場面において、生徒同士の会話をイメージした内容を位置付け、対話を通して学ぶことができるよう配慮されている。 ・学習過程の「結論」の後に、「話し合おう」「探究を振り返ろう」「考えよう」が位置付けられており、学習内容を活用して考えを深めることができる。
<p>2 第4次岐阜県 教育振興基本計 画(令和6年3月 策定)にかかわ ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・章の途中に「ハローサイエンス」が位置付けられており、学習内容に関わる歴史や日常生活と関連付けた事象を紹介し、様々な生徒の知的好奇心に対応している。 ・二次元コードを読み取ると「まなびリンク」に移動する。その中の項目に「おさらい」があり、1、2年生の教科書の該当する内容のページに移動するようになっており、学び直しができよう工夫がなされている。 ・「まなびリンク」の巻末資料から「名古屋市科学館」「日本科学未来館」などのホームページに移動することができ、生徒が科学技術・情報技術やものづくりへの関心を高めることができる。
<p>3 印刷・製本等 にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ページ数が多く重量があるが、テキストのサイズが大きく読みやすい。また、重要語句が太字で色を変えて強調されているため、読み手が重要語句であることを認識しやすい。グラフを扱うときは、種類によって色分けしてあり、生徒が理解しやすいように十分配慮されている。 ・それぞれの学習内容における課題と結論を赤色の枠で囲ってあり、内容も端的に記されている。また、生徒が課題に立ち戻ったり、課題と結論のつながりを意識したりすることができるように、色の統一が図られている。 ・「疑問」「課題」「仮説」「計画」「考察」の字や背景の色が統一されており、生徒が学びの過程を意識しながら学習を進めることができるように工夫されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との協働的な学びを重視し、探究活動や話し合う場面において、問題解決に向けた対話的な記述が示されており、協働的かつ主体的に学びを進めることができるように配慮されている。 ・問題解決の場面後には、学習内容を活用して考える発展的な問いや日常生活との関連性について考える資料が位置付いており、生徒が学びを深めることができるように工夫されている。 ・文字の大きさや色、背景色に統一性があり、生徒が重要な内容を認識し、学ぶ過程をイメージしながら進められるように配慮されている。

様式 2

教 科
理 科

種 目
理 科

発 行 者
啓林館

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成 29 年告示) にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元末に「学習のまとめ」と「力だめし」として問題の掲載をしている。さらに、まとめでは二次元コードを読み取ると重要語句についての選択問題を解くことができ、基礎的・基本的な学力の定着を図ることができる。 ・観察・実験の器具の操作方法は、各観察・実験の場面に記載されており、アイコンで保護眼鏡、廃液処理、室内換気などについて分かりやすく表記されている。また、注意する箇所については、赤字で表記されており、安全面への配慮がされている。 ・「探Qのたね」や、単元末の「みんなで探Qクラブ」など学習した内容を日常生活とつなげた疑問が記載されており、学習内容を広げたり、深めたりできるよう、十分に配慮されている。
<p>2 第 4 次岐阜県 教育振興基本計 画(令和 6 年 3 月 策定)にかかわ ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「考えてみよう」「発表してみよう」を位置付けることで、個で考えをもつことや考えをより妥当にするために他者との協働を促すことについて十分に配慮されている。 ・単元ごとに「学ぶ前にトライ」「学んだ後にリトライ」を位置付け、学習したことを使って科学的に記述することで学びを認識できるように促し、自分の成長を実感する場が適切に設定されている。 ・二次元コードを読み取ると、単元・章に関連する動画の一覧ページにアクセスすることができる。実験内容とその結果及び、基本的な知識に関わる解説について動画で視聴することができるだけでなく、外部の WEB サイトにもつながるように設定されており、観察・実験では扱うことが難しい内容まで調べることができるため、生徒の興味を引き、主体的に学習を進めるための工夫がなされている。
<p>3 印刷・製本等 にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読みの難しい漢字にふりがながつき、重要語句が太字で記されていることで、見やすいものとなっている。グラフは線種を変えることで識別しやすい表記になっている。 ・巻末に学年末問題があり、問題に取り組むことで 1 年間の学習内容について振り返りができるものとなっている。巻末に「探Qシート」「探Qラボ」が添付されており、考えを整理しながら学習を進め、レポートとしてまとめることで、思考力・判断力・表現力の向上によく配慮されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容について日常生活や社会と関連付けた内容が記載されており、学習内容を広げたり、深めたりできるよう、配慮されている。 ・個別最適な学びと協働的な学びの場が明確に設定されたり、単元の前後で思考について確認できる問いが記載されたりしていることで、学習したことの意義・価値を実感できるものとなっている。 ・巻末にある探Qシートは、順に記入していくことで、観察・実験を計画したり、結果を根拠として考察したりすることができ、探究の過程にそって活動できるものになっている。

様式 2

教 科
音 楽

種 目
一 般

発 行 者
教育出版

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材には、学習目標、学習目標に迫るための具体的な学習活動が示され、生徒が課題意識をもって学習に取り組めるよう配慮されている。また、題材について、複数の教材を扱うように配置されており、それらと比べる学習活動を通して、音楽を形づくっている要素をもとに、思いや意図を活かし、曲の特徴を踏まえた表現の仕方を工夫したり、音楽のよさや美しさを味わいながら聴き取ったりすることができるように配慮されている。 ・他の領域や教材と関わらせながら学習を進めることができるよう、題材同士のつながりが、「学習MAP」に整理されている。また、各題材で育成をめざす資質・能力も示されており、領域・分野の相互のつながりを意識した学習内容の選択が可能であり、系統的・発展的に学べるよう配慮されている。 ・「Active!」により、主体的・対話的で深い学びを導くための活動例が示されている。曲の特徴を、音楽を形づくっている要素ごとに調べて比べてみる活動を通して、生徒がワークシートを活用しながら、自分の考えをまとめたり、意見交換をしたりして、他者に関わりながら学びを深めていけるように配慮している。
<p>2 第4次岐阜県 教育振興基本計 画(令和6年3月 策定)にかかわ ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語、社会等他教科への学習につながる学習内容や諸外国や地域の多様な曲種が掲載されており、興味関心を広げるための配慮がされている。また、「Let's Try!」には、学習内容をより発展的に捉えることができる活動が示されており、生徒の多様な学びへの支援が配慮されている。 ・学習目標に迫るための具体的な学習活動が例示されていることから、生徒が自分の活動を振り返りやすいように配慮されている。 ・二次元コードが配置されており、それを読み取ることで、範唱や映像を見たり聴いたりすることができるようになっており、個別最適な学びを支援できるよう配慮されている。
<p>3 印刷・製本等 にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の大きさ、ページ数は全学年同じであり、重量のみ若干の違いはあるが、大きく差はない。教科書はページ数や重みを限りなく抑え、学習活動の身体的負担の軽減によく配慮されている。 ・UDフォントが使用されており、色覚等の特性を踏まえた配色やレイアウト等、歌詞の文字をはっきりと印字したり、反射が抑えられる質感の紙を使用したりする等見やすさに十分配慮がされている。 ・巻末の「楽典」には、音楽記号等について十分な量が扱われており、言葉や図、色分けが工夫され、学習の中で活用ができるよう折込ページに分かりやすく掲載されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が、音楽を形づくっている要素に着目しながら、教材を比べて考える活動を通して、ワークシートを活用し自分の考えをまとめたり、生徒同士で意見を交流しながら考えを深めたりすることができるように構成されており、主体的・対話的で深い学びが実現できるように配慮されている。 ・題材について、複数の教材を扱うように配置されており、それらと比べる活動を通して、音楽を形づくっている要素に気付いたり、音楽の見方・考え方を働かせて楽曲のよさや美しさを感じ取ったりすることができるように工夫されている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
音 楽	一 般	教育芸術社

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材には、楽曲の紹介文、学習目標、学習目標に迫るための具体的な学習活動が端的に示され、この教材で考えたいポイントを示すことで、生徒が課題意識をもって学習に取り組む配慮が十分にされている。また、ワークシートやキャラクターの吹き出し等を用いながら、学習の活動例が示されており、音楽を形づくっている要素とその働きに着目しながら、思いや意図をもち、それを表現するための技能を習得したり、音楽のよさや美しさを味わいながら聴き取ったりすることができるようによく配慮されている。 ・3つの資質・能力、領域、教材との関わりが分かるように整理され、かつ学習内容と教材との関連度及び音楽を形づくっている要素も併せて示されていることから、指導者は学習のねらいに応じた教材選択が可能となり、生徒は自分にどのような力が身に付くのかを確認することができる「学びの地図」ともいえる内容が一目で分かるように配置され系統的・発展的な学びに十分配慮されている。 ・「学びのコンパス」には、主体的・対話的で深い学びを自覚するための活動例が示されており、音楽を形づくっている要素に着目したキャラクターの吹き出しを手掛かりに、生徒が見通しをもって活動できるようによく配慮されている。活動例には、生徒同士や指導者との対話を促す「話し合いましょう」「意見交換をしましょう」等の表現やキャラクターの吹き出しによる発言例が多く取り入れられており、協働的な学びとなるよう十分に配慮されている。
<p>2 第4次岐阜県 教育振興基本計 画(令和6年3月 策定)にかかわ ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語、英語、社会等他教科への学習につながる学習内容や諸外国や地域の多様な曲種が掲載されており、興味関心を広げるための十分な配慮がされている。また、「challenge!!」には、学習内容をより発展的に捉えることができる活動が示されており、生徒の多様な学びへの支援が十分に配慮されている。 ・学習目標に迫るための具体的な学習活動が例示されていることから、生徒が自分の考えや表現の変容を振り返りやすいようによく配慮されている。特に鑑賞のワークシートでは、意見交換後、さらに考えをまとめる活動例が示されており、多様な意見から、自分の考えを再構築できるよう十分に配慮されている。 ・二次元コードが多数配置されており、それを読み取ることで、歌唱パート、リコーダーパート、カラピアノをはじめ、楽器の奏法等を一人一台端末で聴いたり確かめたりすることができ、自分の学びに応じて活用が可能であり、個別最適な学びを十分に支援できるよう配慮されている。
<p>3 印刷・製本等 にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の大きさ、ページ数は全学年同じであり、重量のみ若干の違いはあるが、大きく差はない。 ・UD フォントが使用されており、色覚等の特性を踏まえた配色やレイアウト等、濃淡が明確で歌詞の文字もはっきりと印字する配慮が十分にされている。 ・巻末の「音楽の約束」には、音楽記号等について扱われており、学習の中で活用できるよう掲載されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が、音楽を形づくっている要素に着目しながら、音楽活動を通して自分はどのような力を身に付けるのかを、自らで考え見通しをもって活動できるように構成されており、音楽の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びが実現できるように十分に配慮されている。 ・多くの二次元コードが位置付けられており、一人一台端末で読み取ることで、歌唱、鑑賞、創作の学習を支援するコンテンツに容易にアクセスし、個別最適な学びが充実されるよう十分に配慮されている。

様式 2

教 科
音 楽

種 目
器楽合奏

発行者
教育出版

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の特徴などの知識や、表現活動をするための技能を確実に身に付けられるよう写真を用いている。また手元や口元を特に大きく写し、確かめながら技能を身に付けることができるよう配慮されている。「深めてみよう」ではこれまで身に付けた技能をもとにチャレンジできる曲が掲載されている。 ・系統的、発展的に学ぶことができるよう、「合わせて演奏しよう」では難易度により「Let's Play！」と「Let's Try！」に分けて掲載されている。 ・「表現の仕方を調べてみよう」では、音楽を形づくっている要素（音色等）を手掛かりに比較鑑賞することで、音楽的な見方・考え方を働かせて学習ができるよう工夫されている。
<p>2 第4次岐阜県教育振興基本計画（令和6年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の進度に即して学ぶことができるよう楽曲が配列されている。「表現の仕方を調べよう」では、音楽を形づくっている要素を手掛かりに比較鑑賞し、共通点や相違点を友達に紹介する活動が取り入れられている。 ・楽器ごとに学習評価の手掛かりとなる目標が、段階的に設定されており、それぞれに「まとめの曲」が位置付いているなど身に付けた力が確かめられるようよく工夫されている。 ・二次元コード「まなびリンク」を読み取ることで、「見る」「聴く」「知る」などの動画等が用意されており、ICTを活用した学習が工夫されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の大きさはA B変型判である。ページ数は107ページであるが重量は219gと抑えられており、学習活動の身体的負担を軽減できるよう十分な配慮がなされている。 ・UDフォントが使用されており、特別支援教育への視点において十分な配慮がなされている。 ・「リコーダーの運指表」、「ギター&キーボード コード表」が折込ページで掲載されている。巻末には、演奏に必要な記号や用語などの楽典が一覧になって掲載されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽の学習において、楽器の特徴などの知識や、表現活動をするための技能が確実に身に付けられるよう配慮されている。また、楽器固有の音色や響きを感受し、表現の仕方を音楽的な見方・考え方を働かせて整理・交流するなどの学習活動が工夫されている。 ・デジタルコンテンツ「まなびリンク」の活用により、主体的な学びやICTを活用した個別最適な学びへの配慮がなされている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
音 楽	器楽合奏	教育芸術社

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器固有の音色や響きを様々な奏法で試し、音色や響きを比較しながら、実感を伴って理解できるような音楽活動が工夫されている。「弾いてみよう」では楽器固有の音色や響きを確かめながら技能が身に付くよう、学習活動が十分に配慮されている。 ・系統的、発展的に学ぶことができるよう、「アンサンブル」では、様々な楽器による編成や、多彩なジャンルの音楽に触れられる合奏曲が適切に掲載されている。 ・「学びのコンパス」では、音楽を形づくっている要素（テクスチャ、構成等）を手掛かりに表現を創意工夫するための学習の流れが掲載されており、見通しをもって学習に取り組むことや音楽的な見方・考え方を働かせて学習が深まるようよく工夫されている
<p>2 第4次岐阜県 教育振興基本計画 (令和6年3月 策定)にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の進度に即して学ぶことができるよう楽曲が配列されており、生徒が躓きやすい点についてもQA方式で解決策が掲載されている。「学びのコンパス」では、キャラクターが学習をサポートし、生徒が課題意識をもって友達と対話し、協働的な学びが進むよう十分に工夫されている。 ・目標に即して、「活動文」（学習目標に迫るための具体的な学習活動の例示）及び「考えたいポイント」が例示されている。 ・二次元コードを読み取ることで、動画や音源、ワークシートなどのコンテンツが豊富に用意されており、ICTを活用した学習がよく工夫されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の大きさはA B変型判である。ページ数は107ページであり、重量は221gと学習活動の身体的負担を軽減できるよう配慮がなされている。 ・UDフォントが使用されていたり、背景が白で統一されていたりして特別支援教育への視点において十分な配慮がなされている。 ・「リコーダーの運指表」、「ギター／キーボード コード表」が見開きで掲載されている。巻末には演奏に必要な記号や用語などの楽典が一覧になって掲載されている。「楽しもう 和楽器の音楽」では、和楽器合奏に取り組む中学生の姿やインタビューが掲載されており、和楽器に親しみがもてるようよく工夫されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽の学習において、楽器の特徴などの知識や、表現活動をするための技能が確実に身に付けられるよう配慮されているとともに、音楽的な見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びが実現できるような学習活動が充実している。 ・デジタルコンテンツが豊富に用意されていることにより、主体的な学びやICTを活用した授業、個別最適な学びが進むよう十分に配慮されている。

様式 2

教 科
美 術

種 目
美 術

発 行 者
開隆堂

調 査 項 目	意 見 書																				
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに、資質・能力の三つの柱に対応した「学習の目標」を設定している。また、どのような表現行為をする題材なのか副題で適切に示している。 ・表現と鑑賞の題材を厳選し表現方法を絞り込み具体的な制作の手順を示している。 ・163点の生徒の作品を掲載している。作品画像に「作者のことば」を添え表現の工夫を感じ取れるよう配慮されている。 ・「発想・構想」の場面を掲載し、アイデアスケッチや活動の様子を掲載することで、学習過程の見通しがもてるよう配慮してある。 ・具体的な制作の手順を「知識・技能」として明確に示し、見通しをもって制作に取り組めるようにしてある。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>絵画や彫刻など</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>デザインや工芸など</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>鑑賞</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11</td> <td>22</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1	2・3	合計	絵画や彫刻など	5	8	13	デザインや工芸など	4	7	11	鑑賞	2	7	9	合計	11	22	33
学年	1	2・3	合計																		
絵画や彫刻など	5	8	13																		
デザインや工芸など	4	7	11																		
鑑賞	2	7	9																		
合計	11	22	33																		
<p>2 第4次岐阜県教育振興基本計画 (令和6年3月策定) にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・案内役のキャラクターや中学生のコメントが吹き出しにあり、個に応じた学びを進められるよう工夫されている。 ・4ページで構成してある題材もあり「鑑賞」「知識・技能」「発想・構想」の観点それぞれに目標が設定されている。教師は指導と評価の計画を立てやすく、生徒は自らの学びを自己評価しやすいものになっている。 ・生徒が仲間とともに意見を交わし合う場面が掲載されている。 ・題材名上部に二次元コードを位置付け、「はじめに」「生徒作品」「鑑賞シート」「振り返りシート」を閲覧・使用できるようになっており、一人一台端末を活用して学習できるよう十分に工夫されている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二次元コード数</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>ICT活用例数</td> <td>9</td> <td>24</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1	2・3	合計	二次元コード数	16	25	41	ICT活用例数	9	24	33								
学年	1	2・3	合計																		
二次元コード数	16	25	41																		
ICT活用例数	9	24	33																		
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2・3年生用を一冊にまとめている。 ・表紙に特殊加工を施し作品の特徴を触覚で感じ取れるよう工夫がされている。 ・UD フォントを採用し、光沢を抑えた目に優しい色調で印刷することで、誰もが見やすいよう配慮されている。 ・巻末に「学びの資料」を掲載し、知識や技能を培う資料や社会とのつながりを考える資料を適切に配置している。 																				
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒作品を掲載し二次元コードからも生徒作品を鑑賞できる。また、大型図版を掲載し、鑑賞学習が充実したものになるよう編集されている。 ・3年間を通して生活や社会の中の美術文化について豊かに学ぶことができるよう配慮されている。 																				

様式 2

教 科
美 術

種 目
美 術

発 行 者
光村図書

調 査 項 目	意 見 書																				
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p> <p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに、資質・能力の三つの柱に対応した「目標」を設定している。題材の初めに「～してみよう」と鑑賞を促し「POINT」により具体的な視点を示している。 ・表現と鑑賞の題材をバランスよく掲載し独立した鑑賞題材も充実している。 ・69点の生徒作品を掲載している。画像に「作者の言葉」を添え作者の思考の流れや表現意図が読み取れるよう配慮されている。 ・題材の初めに鑑賞作品を掲載している。題材によっては「発想・構想」のなかで「みんなの工夫」として学習過程が示されており、主体的な学びを支える内容になっている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>絵画や彫刻など</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>デザインや工芸など</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>鑑賞</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19</td> <td>24</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1	2・3	合計	絵画や彫刻など	8	7	15	デザインや工芸など	5	5	10	鑑賞	6	12	18	合計	19	24	43
学年	1	2・3	合計																		
絵画や彫刻など	8	7	15																		
デザインや工芸など	5	5	10																		
鑑賞	6	12	18																		
合計	19	24	43																		
<p>2 第4次岐阜県教育振興基本計画（令和6年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題材により「みんなの工夫」が例示されていることで、個に応じた表現方法を選択することができるよう配慮されている。また、自己課題や目標を吹き出しで示し、自己評価につなげられるよう工夫されている。 ・仲間と関わりながら制作に取り組む場面を紹介している。 ・2ページで構成されている題材は「鑑賞」「表現」、4ページで構成されている題材は「鑑賞」「表現」「鑑賞」となっており、鑑賞と表現を関連させて学習できるよう十分に配慮されている。 ・鑑賞を通して学んだことを表現で生かすことができるよう「POINT」で形や色彩などの視点を具体的に示している。 ・二次元コードを位置付け、全国の生徒作品を鑑賞できるようにしたり、鑑賞題材では高精細画像の閲覧ができ映像に書き込みながら鑑賞できるようにしたりして、一人一台端末を活用した学習ができる工夫が十分になされている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>1資料</th> <th>2・3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二次元コード数</td> <td>32</td> <td>40</td> <td>66</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td>ICT活用例数</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1	1資料	2・3	合計	二次元コード数	32	40	66	138	ICT活用例数	10	10	16	36					
学年	1	1資料	2・3	合計																	
二次元コード数	32	40	66	138																	
ICT活用例数	10	10	16	36																	
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2・3年生用を一冊にまとめ、資料を別冊にしている。 ・表紙に耐久性のあるコーティングが施されている。 ・UDフォントを採用し、日本の絵画を鑑賞するページでは質感の異なる紙に印刷するなど、実際の作品の色合いが伝わるような色調で印刷されている。 ・巻末に「学習を支える資料」を掲載し、鑑賞資料や美術史年表、技法や用具の使い方を配置し、二次元コードから実際の手順等を動画で視聴できるよう十分に工夫されている。 																				
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞と表現を関連させ生徒自らが主題を生み出し、発想・構想を練ることができるよう具体的な事例を多く掲載し活用しやすい。 ・「うつくしい！」をテーマに身の回りの造形と美術との関わり、社会で果たす美術の役割を意識した内容になっている。 																				

様式 2

教 科
美 術

種 目
美 術

発 行 者
日本文教出版

調 査 項 目	意 見 書																									
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> 何ができるようになるか 何を学ぶか どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとの学習目標を「学びの目標」として、資質・能力の三つの柱に対応するように設定している。「鑑賞の入り口」で題材を貫く問いを投げかけ「造形的な視点」で具体的な見方や考え方を示すことにより、何を学ぶかを明確にして学習に取り組めるよう十分に配慮されている。 ・表現と鑑賞の題材をバランスよく掲載している。多様な表現による生徒作品を示すことで、表現の幅が広がり、異なる見方や感じ方を学び合うことができるように十分配慮されている。 ・162点の生徒作品を掲載している。「作者の言葉」により、表現に込められた思いや工夫が感じ取れる内容になっている。 ・主体的に学びを進められるよう、どの題材にも「鑑賞の入り口」「造形的な視点」「表現のヒント」が適切に示されている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3上</th> <th>2・3下</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>絵画や彫刻など</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>デザインや工芸など</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>鑑賞</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>15</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1	2・3上	2・3下	合計	絵画や彫刻など	7	6	5	18	デザインや工芸など	6	7	5	18	鑑賞	5	4	5	14	合計	18	17	15	50
学年	1	2・3上	2・3下	合計																						
絵画や彫刻など	7	6	5	18																						
デザインや工芸など	6	7	5	18																						
鑑賞	5	4	5	14																						
合計	18	17	15	50																						
<p>2 第4次岐阜県教育振興基本計画（令和6年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「鑑賞の入り口」の問いから学びが始まり、自分としての意味や価値をつくり出し、発想や構想を深められるよう「造形的な視点」を具体的且つ適切に示されている。 ・主題を追求する方法を自ら試し求めることができるよう「表現のヒント」を全表現題材で提示し統一感のある構成となっている。 ・仲間との意見交換を通して見方や感じ方を広げていく場面を紹介している。 ・題材の導入文の最後に二次元コード「学びのはじめに」を位置付け、映像や音声により題材で学ぶ内容について一人一台端末を活用して学習できるようによく工夫されている。 ・「表現のヒント」としてタブレット型端末を活用することの効果や紙面に掲載しきれなかった情報を動画等で閲覧できるようによく工夫されている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2・3上</th> <th>2・3下</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二次元コード数</td> <td>40</td> <td>38</td> <td>29</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>ICT活用例数</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1	2・3上	2・3下	合計	二次元コード数	40	38	29	107	ICT活用例数	13	13	13	39										
学年	1	2・3上	2・3下	合計																						
二次元コード数	40	38	29	107																						
ICT活用例数	13	13	13	39																						
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2・3年生用を上・下の2冊に分け、学年ごとに使用できるように配慮されている。また、表紙に耐久性のあるコーティングが施され、全面に作品を掲載している。 ・UDフォントを採用し、実際の作品の質感や色彩が忠実に再現されるよう適切に印刷されている。 ・巻末に「学びを支える資料」を掲載し、鑑賞資料や美術史年表、技法や用具の使い方を配置し、二次元コードから実際の手順等を動画で視聴できるよう十分に工夫されている。 																									
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した題材数により、指導計画の選択肢が広がるとともに、統一感のある紙面構成で活用しやすい。 ・「出会い」「深め」「見つめ考えつなげる」という美術を学ぶ課題を巻頭に示し、生活や社会の中の美術と豊かに関わることができるよう3年間で身に付けたい資質・能力の方向性が適切に示されている。 																									

様式 2

教 科
保健体育

種 目
保健体育

発行者
東京書籍

調 査 項 目	意 見 書
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)にかかわること ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	<ul style="list-style-type: none"> ・章扉では、章全体の学習内容と小学校・高等学校の学習内容、他教科との関連が示されている。さらに、小学校の学習内容については、D マークコンテンツを活用して動画でも確認でき、系統的な学びができるよう十分に配慮されている。 ・日常生活で生かす 20 のスキルを「巻末スキルブック」でまとめ、本文、写真、D マークコンテンツで確認することによって、生涯にわたって役立つ生きる力が身に付けられるように十分に配慮されている。 ・主体的・対話的で深い学びを実現するために、1 単位時間の学習過程を 4 つのステップで構成している。「自己形成と心の健康」では、「見つける」で自身の好きなものを挙げることで通して、学習課題の自己形成を考えることに繋げ、「広げる」で自分らしい生き方を見つめる構成をとり、よく工夫されている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定)にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「見つける」では、日常経験や既習事項を基に考える発問が多く、学習課題を自分ごととして捉えて学習を進められるよう十分に配慮されている。学習課題を解決するための発問が学習活動の流れにそって適切に提示され、関連する資料が発問横に明記されているため、一人一人の実態に応じて粘り強く学習が進められるよう十分に配慮されている。 ・二次元コード数が 3 学年で計 72 掲載されている。二次元コードは各章でまとめられ、動画、思考ツール、シミュレーション、章末問題など様々な ICT 学習コンテンツが用意され、個別最適な学びを進めるうえで大変効果的である。
3 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 198 ページ、大きさ AB サイズ、重量 379 g と最も軽くとても扱いやすい。 ・文字はユニバーサルデザインフォントが使用されており、可読性が高い。 ・本文を補足する表やグラフ、写真等が最も多く取り上げられており、読み取りが苦手な生徒等の理解を助けるよう十分に配慮されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・1 見開きで 1 単位時間が構成され、「見つける」「学習課題」「課題の解決（「発問」「本文・資料」「活用する）」」「広げる」の 4 つのステップが学習の流れに沿って配置されており、生徒が主体的・対話的で深い学びができるよう十分に配慮されている。また、ICT 学習コンテンツが充実しており、個別最適な学びを進めるうえで大変効果的である。 ・総重量がとても軽く、持ち運びに負担が少ない。

様式 2

教 科
保健体育

種 目
保健体育

発行者
大日本図書

調 査 項 目	意 見 書
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) にかかわること ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 章扉では、章全体の学習内容と小学校・高等学校の学習内容が示されている。各単位時間でも関連のある項目が示され、系統的な学びができるよう工夫されている。 ・ 心肺蘇生法等の応急手当の技能に関する内容が、実習のページで 3 項目取り上げられている。「心肺蘇生法」では、流れや手順、正しい方法を本文と写真、イラストで記されている。 ・ 1 単位時間の学習過程を 3 段階に分けて構成している。「人との関わりと自分らしさ」では、学校等での自他の行動を振り返ることで学習課題につなげ、話し合う活動を経て、自身の行動を見直したり、将来なりたい自分について考えたりする構成とし、生徒が主体的・対話的で深い学びができるよう十分配慮されている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構成が「つかもう」「話し合ってみよう」「活用して深めよう」で統一され、「話し合ってみよう」では、課題解決のための話し合いの視点が明確になっており、よく工夫されている。 ・ 二次元コード数が 3 学年で計 40 掲載されている。学習内容に関連した動画や資料、外部リンク先で構成される「中学校保健体育 WEB」にアクセスできる。特に章末に掲載される「重要な言葉」と二次元コードによるまとめの問題の提示は、個別最適な学びを進めるうえで効果的である。
3 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総ページ数 194 ページ、重量 431 g、大きさ AB 変形サイズで横幅は他者より 8mm 短くとても扱いやすい。 ・ 1 見開きの左ページに本文、右ページに資料を配置し、わかりやすく統一したレイアウトで構成し、よく工夫されている。 ・ 単語の途中での改行がなく、本文が読みやすいよう配慮されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 見開きで 1 単位時間が構成され、「学習のねらい」で学習内容を通して解決したい学習課題を示し、「つかもう」「話し合ってみよう」「活用して深めよう」と学習の流れが統一されており分かりやすい。 ・ 「話し合ってみよう」では学習内容によって、「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」と取り組むことが工夫されており、生徒の主体的・対話的な活動が促されている。 ・ AB 変形版でサイズが小さく、持ち運びに負担が少ない。

様式 2

教科
保健体育

種目
保健体育

発行者
大修館書店

調査項目	意見書
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)にかかわること ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	<ul style="list-style-type: none"> ・章扉では、学ぶ時に役立つ見方・考え方と小学校・高等学校の学習内容、「関連」で教科書の他のページや他教科との関連が示され、系統的な学びができるよう工夫されている。 ・リラクセーションの方法や心肺蘇生法など実習が 3 項目取り上げられている。「心肺蘇生法」では、流れや方法がポイントを挙げながら本文と写真、イラストで示されている。 ・1 単位時間の学習過程を 3 つのステップで構成し、資料を充実させることによって、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう配慮されている。「自己形成」では、導入に前時の学習内容「社会性の発達」と関連付けて学習課題をつかみ、資料を活用して自分自身について深く考えさせ、自己形成について確かな理解ができるような構成となっている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定)にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題をつかむ」では、選択肢から回答する発問が多く用意され、生活経験が少ない生徒も自分の考えをもち学習活動に向かうことができるよう工夫されている。 ・二次元コード数が 3 学年で計 134 掲載されている。動画、ワークシート等、様々な教材を選択して活用できるよう配慮されている。また「保体クイズ」が各単位時間に位置付けられ、生徒に興味・関心を持たせられるよう工夫がされている。
3 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 206 ページ、大きさ AB サイズ、重量 416 g でとても扱いやすい。 ・文字はユニバーサルデザインフォントが使用されており、可読性が高い。 ・本文を補足する表やグラフ、写真等が多く取り上げられており、読み取りが苦手な生徒等の理解を助けるよう十分に配慮されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・1 見開きで 1 単位時間が構成され、「課題をつかむ」「学習のまとめ」が位置付けられ、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。また「学習のまとめ」ではワークシートを活用して自己を振り返ることで、自身の生活改善につながられる工夫がされている。 ・総重量が軽く、持ち運びに負担が少ない。

様式 2

教 科
保健体育

種 目
保健体育

発行者
学研教育みらい

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領（平成 29 年告示）にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・章扉では、学習内容に関係した写真や資料とコラムによって章全体の学びがイメージでき、さらに小学校・高等学校の学習内容が示され、系統的な学びができるよう十分に配慮されている。 ・日常生活で活用する実習が 3 項目取り上げられている。「心肺蘇生法」の実習では、手技の行い方と流れが本文と写真、イラストで示され、注意点やチェックポイントもまとめて見ることができるよう十分に配慮されている。 ・1 単位時間の学習過程を 3 つのまとまりに分けて構成している。「自己形成」では、導入でこれまでの学校生活を振り返り、学習課題を主体的に捉えられる工夫がされている。
<p>2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画（令和 6 年 3 月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の提示の前に、導入の発問として「ウォームアップ」が位置付けられ、学習の課題に気付いたり、関係する経験や知識を呼び覚ましたりして、個々の実態に応じて学びに向かえられるよう工夫されている。 ・二次元コード数が 3 学年で計 84 掲載されている。動画、シミュレーション教材のほか、全時間のワークシートや外部リンクへも繋がり、生徒が自ら教材を選んで学習する力を身に付けられるよう工夫されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容のページ数は最も多いにも関わらず、総ページ数 206 ページ、大きさ AB サイズ、重量 410 g でとても扱いやすい。 ・文字はユニバーサルデザインフォントが使用されている。色数を減らし目に優しい紙面のため、判読性が高く色覚特性に十分に配慮されている。 ・表やグラフ、写真やイラストが、該当する本文の注釈近くに配置され、大変見やすい構成となっている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1 見開きで 1 単位時間が構成され、「ウォームアップ」「エクササイズ」「学びを生かす」が位置付けられ、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ・章扉の学びたいこと・学んだことを表現できるスペース、各時間末の「とりくみメーター」、各章のまとめと、興味・関心、取り組み度合い等を確認することができるコーナーがある。 ・学習内容のページ数の充実の割には総重量が軽い。